COMINET
LIVE
Communication Network for Live
2006　初冬　no. 39

株式会社
松井郁夫建築設計事務所
まちづくりデザイン室
165-0023
東京都中野区江原町1-46-12-102/203
TEL　03-3951-0703　FAX　03-5996-1370
URL：http://matsui-ikuo.jp
e-mail：ok@matsui-ikuo.jp

ごあいさつ
日に日に秋も深まってきています
みなさま元気でお過ごしでしょうか

２０周年記念展
お越しいただきありがとうございました

９月に当事務所内で開催された20周年記念展は、大盛況のうちに幕を閉じました。当日はいつもお世話になっている建主さんをはじめ工務店の方々や、遠方からもたくさんの方々がお見えになりました。お忙しい足をお運びくださった皆様、大変ありがとうございました。

同時開催でマルブデザインのご厚意により、スケッチ展をやらせていただきました。展示会期後に、もっともっと全国をスケッチして回りたい気持ちが強くなってきています。

地方へ講演会で出かけるときは少し足を伸ばし、スケッチを日程に入れるように計画を立てました。民家を、風景を、日常をと欲張って描いているこの頃です。

現在進行中

「吉祥寺の家」　施工：キューブワンハウジング

瓦屋根がどっしりと載り、腰屋根が顔をのぞかせています。腰屋根は通気をうまく循環させて室温調節に役立ちます。さらに光をうまく取り入れ気持ちのいい室内になります。
東京の木を使った和風の家です。

「中落合の家」　施工：渡辺工務店

内部の造作がどんどん出来上がっていきます。階段が組まれ吹き抜けの気持ちのよさが工事の途中にかかわらず、すでに感じられてきます。
一つ一つが大工さんの手で仕上げられていきます。木組の家には工業製品にはない暖かさがあって、ここにしかないものを作ってゆく贅沢さがあります。

「腰越の家」上棟直前　施工：エスエス

いよいよ9日から建て方が始まります。欅の大黒柱や、松丸太が出番を待っています。
構造見学会を11月18日（土）に行います。詳しくはＨＰをご覧ください。
建て主さんのこだわりでいろいろな材木を使うこととなりました。趣向を凝らした楽しい家になると思います。

「日高の家」実施設計　施工：渡辺工務店

結婚したばかりの若いご夫婦が日高の住宅団地に広々とした土地を購入されました。自然に恵まれた、巾着田にも程近いアウトドアにもってこいの場所です。子育ても自然の中でと考えていらっしゃいます。

「軽井沢の別荘」実施設計

20年前に建てた「江古田の家」の建て主さんが軽井沢の別荘を建てることになりました。大きなお風呂を造り、ゆったりとのんびり出来る部屋を計画しています。
来年のGW完成を目指します。

「浜田山の家Ⅱ」実施設計

あたりまえの家の実施設計です。じっくりと取り組み、これまでにないスタンダードな雰囲気をつくりたいと思います。いつものように架構と間取りが一致した、無理のない丈夫な構造の使いやすい家を目指しています。

お知らせ

住宅ローンの優遇融資制度『とうきょうの森のいえ』

住宅ローンの優遇融資制度『とうきょうの森のいえ』が始まりました。
東京都の支援により、多摩でつくられた杉の木を住宅に活用した場合、住宅ローンの金利優遇等を受けることが出来るようになりました。
「東京の木・いえづくり協議会」に松井事務所は会員として登録しているでこの制度が使えます。
詳しくは、松井事務所ＨＰニュース欄をご覧下さい。
これから融資をお考えの方には、お得な情報です。

WS「き」組の活動が「木の建築賞」２次審査を通過しました

ＮＰＯ木の建築フォラム主催の設計コンテスト「木の建築賞」においてワークショップ「き」組の活動が２次審査を通過しました。
審査会場となった桐生市の有鄰館という古い蔵の中で伝統的な木組の話をしました。

木組ゼミ第３期終了しました

今年４月から始まった「木組ゼミ」が終了しました。静岡県から毎月通った人もいて、熱い意欲が感じられました。
２期生の方からも差し入れが届いたりして交流が続いています。全国に木組の家づくりが広がってくれたら幸いです。
課題で設計した家の軸組み模型を前に記念写真です。

「検見川の家」完成報告

本格的な和風の住宅です。太い柱、太い梁がしっかりとした骨組みになりどっしりした家になりました。民家の持っている力強い木組の醍醐味を存分に発揮できたと思います。

せがい造りで２階が張り出しているので、二重三重に組まれた梁は最大５段にもなります。両せがいなので迫力ある架構になりました。１階のデッキも広々と気持ちの良い外部空間になりました。

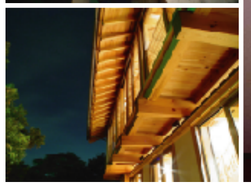
建主さんは木工を趣味にする木が大好きな方で、日本建築にも造詣が深く、使われている欅と松はご自分で探してこられました。欅の古材は玄関ホールと和室でこの家を支えています。２階の梁に使った松丸太は福島の山まで選びに行かれました。ご一緒して製材所を訪ねたのも楽しい思い出です。

持井工務店もはりきって仕事をしてくれました。７メートルの松丸太を刻む仕事は、大きな下小屋を持っている持井工務店ならではの仕事です。建て方は若い大工さんも大勢加わって賑やかに行われました。

上棟後の設計監理は、現場で建主さんにお会いするたびにお酒をいただき、木や山、技術の話などに意気投合しながらの、楽しい監理でした。行くたびに良くなるこの家の完成が近くなるにつれ、通えなくなるのが寂しいような妙な気持ちになりました。

秋晴れの日に行われた完成内覧会は遠方からも大勢の方がお見えになり大盛況でした。夜は建主さんのご厚意でこの家最初の宴会がひらかれました。

持井社長並びに松澤棟梁、若い現場監督も大いに力を出していただきみんなでできた家です。みなさんありがとうございました。



DATA
敷地面積　220.27㎡
建築面積　98.91㎡
延床面積　139.21㎡
家族構成　夫婦＋子供１人
施工　持井工務店
山　天竜、福島材

撮影　奈良岡 忠
松井事務所